

新検協だより

新潟県環境検査協会（略称「新検協」）

令和4年1月20日発行

No.50

六十里越雪わり街道の紅葉

雪わり街道は福島県只見町と新潟県魚沼市を結ぶ峠です。

田子倉湖やブナ林に囲まれた美しい景色を見ることができます。

写真／山本哲夫

目次 -CONTENS-

- | | | | |
|-------|----------------------------|---------|------------------|
| p2 | ● 新検協事業報告 | p8-p10 | ● 部会活動報告 |
| p3-p5 | ● 新潟県の地球温暖化対策の取組 | p11-p13 | ● 技師のひとりごと |
| p6-p7 | ● 機関紹介「一般財団法人下越総合健康開発センター」 | p14-p15 | ● 研修会実施報告～コロナ禍編～ |
| | | p16 | ● 会員及び役員名簿・編集ノート |

新検協だよりについて

新潟県環境検査協会は、新潟県内の環境計量証明事業登録機関によって構成し、検査測定技術の向上ならびに検査測定に関する情報交換及び広報を目的として運営されていますが、新検協だよりはその情報発信誌として毎年発行しているものです。

令和3年度 新潟県環境検査協会(新検協)事業報告

- 通常総会 令和3年6月15日
令和2年度事業報告
令和2年度収支決算
令和3年度事業計画
令和3年度収支予算
- 技術者倫理教育講座
令和3年11月19日
- 理事会 令和3年6月15日
令和3年9月16日
令和4年2月10日(予定)

会員が行っている主な業務

- 健康で安心できる生活のために
 - ・ 飲料水、簡易専用水道の検査
 - ・ 食品の成分分析や添加物検査
 - ・ 病原性細菌などの衛生検査
 - ・ レジオネラ検査
 - ・ 残留農薬の検査
- 快適な生活環境を守るために
 - ・ 公共用水域、工場排水などの水質分析
 - ・ 浄化槽の法定検査、放流水検査
 - ・ 焼却場、ボイラー等の排ガス測定
 - ・ 土壌中の有害金属等の分析
 - ・ 作業環境測定
 - ・ 焼却場、工場などの悪臭物質の測定
 - ・ 工場や生活環境中の騒音、振動測定
 - ・ シックハウス濃度調査
- 新たな環境問題に対応するために
 - ・ 排ガスや環境中のダイオキシン類測定
 - ・ 遺伝子組み換え食品の分析
 - ・ 空気や建材中のアスベストの測定
 - ・ 食品や環境試料中の放射性物質の測定
 - ・ 空間放射線量率の測定
- 自然環境を守るために
 - ・ 大規模開発に伴う環境アセスメント
 - ・ 各種環境調査、解析
水質、底質、土壌等の調査
動物、植物等の生態系調査
騒音、振動、交通量調査
環境大気等の調査
日照、景観等の調査
酸性雨・雪等の調査
廃棄物関連の調査
- 環境保全型社会づくりの支援
 - ・ ISO14000s認証取得の支援と
コンサルティング
 - ・ 環境保全、復元、創造のための
コンサルティング

新潟県の地球温暖化対策の取組

新潟県県民生活・環境部 環境企画課 地球環境対策室
政策企画員 石山 央存

1 はじめに

2020年9月、新潟県は2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことを表明し、将来の世代に安全で快適な環境を継承できるよう、温室効果ガス排出の削減対策や気候変動への適応策を推進するとともに、環境と経済の好循環の両立を目指して取り組んでいます。本稿では、現在の県の状況や今後の取組方針等について紹介します。

2 世界の動き

2021年10月31日から11月13日まで、英グラスゴーにおいて、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が開催されました。会議の結果、合意文書「グラスゴー気候合意」が採択され、産業革命前からの世界の平均気温上昇を1.5℃に抑えるための努力を追求することを決意し、この10年間で行動を加速する必要があるとされました。また、全ての国に対して、排出削減対策が講じられていない石炭火力発電の削減等の努力を加速することや、先進国に対して、2025年までに途上国の適応支援のための資金を2019年比で最低2倍にすることを求める内容が盛り込まれました。さらに、パリ協定第6条に基づく市場メカニズムのルールが合意され、パリルールブックが完成しました。



COP26ロゴ（公式サイトより）

なお、「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第6次評価報告書によれば、産業革命からの人為的な気温上昇はすでに約1.07℃である可能性が高いとされており、1.5℃まであとわずかしかないう状況となっています。

3 日本の動き

日本は、2020年10月に2050年カーボンニュートラル宣言を行うとともに、2021年4月には野心的な目標として、2030年度に温室効果ガス46%削減（2013年度比）を目指すこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。これらの表明以降、地球温暖化対策推進法の改正（同年6月公布）をはじめ、地球温暖化対策計画や気候

脱炭素に関連する国の主な計画等

R3. 6. 2	改正地球温暖化対策推進法	公布
R3. 6. 9	地域脱炭素ロードマップ	策定
R3. 6.18	グリーン成長戦略	改定
R3.10.22	地球温暖化対策計画	改定
R3.10.22	気候変動適応計画	改定
R3.10.22	第6次エネルギー基本計画	策定

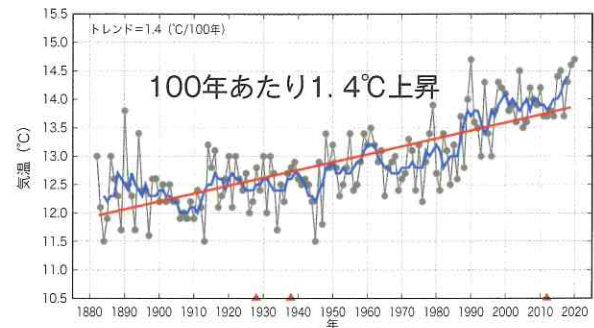
変動適応計画の改定、第6次エネルギー基本計画策定（いずれも同10月）など、各省庁の様々な動きが加速化しています。

なお、気象庁によれば、日本の平均気温は最近100年間で1.26℃の割合で上昇しています。たった1℃と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、近年、国内では猛暑日をはじめ、短時間強雨の発生回数等が増加しており、地球温暖化の影響を受けたと見られる巨大な台風の通過等も起きています。

4 新潟県の状況

新潟気象台の観測結果によれば、県内の新潟市、上越市、佐渡市の平均気温は、この100年間でそれぞれ1.4℃、1.7℃、0.9℃の割合で上昇しています。また、県内でも国内同様に、猛暑日や短時間強雨の増加、さらには局地的な大雪などが起きるようになっており、このまま地球温暖化が進行した場合、こうした気候変動の影響による被害がますます大きくなるおそれがあるとされています。

2021年3月、県では、県内の気候変動の影響が非常事態といえることを踏まえ、この影響による被害の回避・軽減を図る「適応策」として「県気候変動適応計画」を策定するとともに、地球温暖化原因物質である温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」をとりまとめた「県地球温暖化対策地域推進計画」を改定し、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを明記しました。また、今年度、国の新たな2030年度目標（2013年度比▲46%）を踏まえ、県の2030年度目標についても見直しを図っているところです。



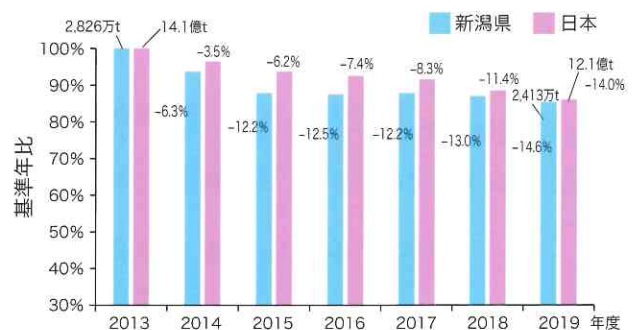
新潟市の年平均気温の推移 (1886~2020)

出典) 新潟地方気象台ウェブサイト：北陸地方の気候変化の特徴より加工して作成

5 温室効果ガスの排出状況

図に国内及び県内の温室効果ガス排出量の推移を示します。

基準年である2013年度以降、省エネ等の取組や再生可能エネルギーの導入拡大が進んだこともあり、国内及び県内の排出量は減少しつつあり、直近の2019年度の排出量は国内全体で約12.1億t-CO₂ (2013年度比▲14.0%)、県内では2,413万t-CO₂ (同▲14.6%、速報値) となっています。一方で、2050年実質ゼロの実現に向けては、さらに削減を進める必要があります。



日本及び新潟県の温室効果ガス排出量推移 (2013~2019)

6 脱炭素社会実現に向けた取組

2050年実質ゼロの実現に向けて重要と考えられる取組は、①地域資源等を活用した再生可能エネルギーの導入拡大、②それらの地域における有効活用（次世代エネルギー活用を含む）、③省エネ・省資源の取組強化、④CO₂吸収源対策等であり、県では、これらの取組を促進してまいりたいと考えています。

行政情報

①については、県内では豊富な河川等を利用した水力発電が多く行われており、県内で使用される電力量のおよそ40%超に相当する電力を自然由来のエネルギーで生み出しています(ただし、その多くは首都圏等へ送電されています)。また、今後、洋上風力発電や大型のバイオマス発電などが計画されており、従来から石油・天然ガスなどで日本のエネルギー供給を支えてきた本県の役割は、脱炭素社会においても、ますます重要となることが期待されています。さらに、新たなエネルギーとして期待される水素の利活用の取組も始まっています。一方で、雪国であることから、太陽光発電は全国よりも進んでいないのが課題であるといえます。

②については、地域の脱炭素化を図るため、地域資源を活用して創り出された再エネを地域で有効活用(地産地消)することが、今後ますます重要となります。蓄電池等も活用しながら、自家消費型の再エネ設備の普及を進める必要があります。また、エネルギー貯蔵基地でもある港湾部では、カーボンニュートラルポート等の取組も始まっています。

③については、省エネ効果の高い照明・電気製品や高効率な給湯・暖房設備等を使用することに加え、建物や住宅についても断熱性・省エネ性を高め、太陽光発電などを利用したZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)等の取組を進めていく必要があります。また、世帯あたり・1人あたり自動車保有台数の多い本県においては、自動車等の電動化が再エネ電力の普及とともに重要となります。さらに、食品ロス対策等の3R(資源のリデュース・リユース・リサイクル)の取組や、将来を担う若者・子供たちへの教育・普及啓発も重要です。

④については、本県は全国第6位の森林面積を誇ることから、適切な森林整備によるCO₂吸収量の維持・拡大が大変重要です。さらに、本県の特徴である天然ガス採取のインフラや技術を活用した、CCUS(二酸化炭素回収・有効利用・貯留)の取組の進展が期待されています。

7 事業者の皆様をお願いしたいこと

脱炭素化を県の取組だけで実現するのは困難であり、国のビッグプロジェクトの誘致・活用も図ることも重要ですが、今後ますます県民・事業者の皆様と連携し、ご理解・ご協力をいただいで取り組んでいきたいと考えています。

事業者の皆様には、脱炭素化に取り組むことの重要性をぜひご理解いただき、再エネ・省エネ設備等の導入を図りつつ(ここでは紹介できませんでしたが、脱炭素化を図る取組を支援する国や県の補助制度もあります)、従業員の方々に対する教育・普及啓発に取り組んでいただきたいと考えています。

2050年というとまだ先のような気がするかもしれませんが、2030年までは10年を切っており、将来の新潟を担う若者や子供達のためにも、今後の取組を加速化することが大変重要となります(すでにサプライチェーンも巻き込んだ国内外の大手企業の影響もあり、国・県よりも早いスピードで取り組まれている事業者もおられるかと思えます)。今後ともご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



県内の若きクリエイターにより製作された気候変動適応に関する啓発用マンガ



一般財団法人 下越総合健康開発センター



〒957-8577 新潟県新発田市本町4丁目16番83号
TEL : 0254-24-1145 (代表)
FAX : 0254-22-0492
URL : <http://www.kenkokaihatu.or.jp>

当センターの前身である（社）新発田市豊栄市北蒲原郡医師会検査センター時代の昭和51年に計量証明事業登録を受けて水質検査事業を開始しました。その後、昭和57年に新たなる事業展開と地域への一層の貢献を目指して（財）二市北蒲原郡総合健康開発センターに改組し、平成24年には法人改革により（一財）下越総合健康開発センターと改め、現在に至っております。

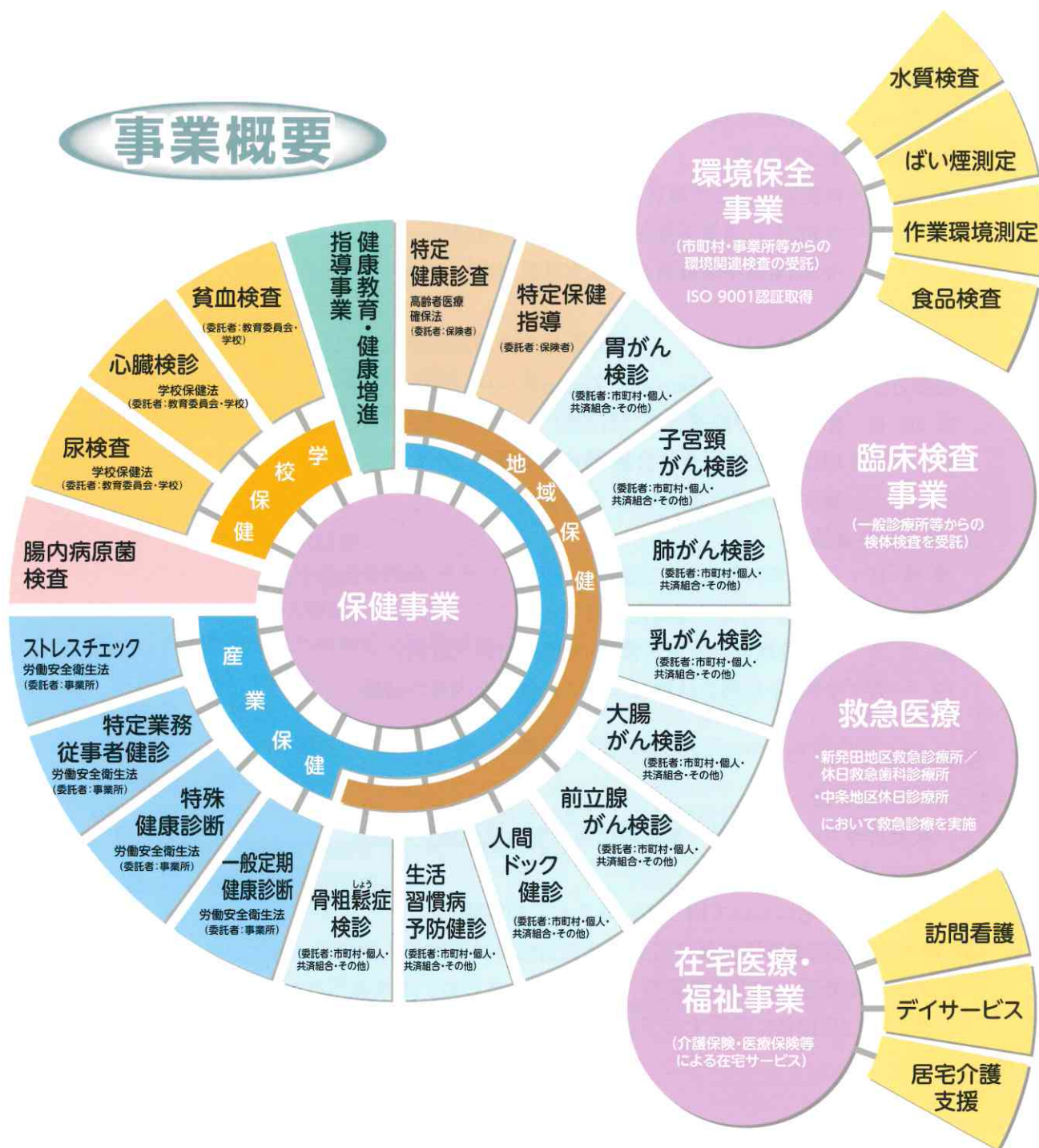
設立当初、環境検査部門は浄化槽放流水検査が主体でしたが、昭和54年に水道法第20条検査機関の厚生大臣指定、昭和57年に（社）新潟県食品衛生協会の食品の衛生検査機関の推奨を受け、さらに昭和61年には作業環境測定機関の登録を受けるなど次第に業務分野の拡大・充実に努めてまいりました。

健康で活力ある地域づくりのために

人生80年を享受できる時代を迎えました。この永い人生を健康でありたいとは、誰しもの願いであります。健康は人が授けてくれるものではなく、自身の努力なくしては築き得ないものではないでしょうか。

一般財団法人 下越総合健康開発センターは新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町はもとより、下越地域住民の健康増進と疾病予防など地域保健医療並びに介護サービスの中核施設として、保健福祉の充実と活力ある地域社会づくりに寄与することを目指しております。

事業概要



精度管理部会活動報告

精度管理部会長 古川 惣一

精度管理部会は、我々検査機関が重要視しなければならない分析精度の向上を目指す部会として、外部精度管理、内部精度管理を通じて、会員機関同士の技術交流・情報交換を行っています。

本年度におきましては、以下の様な活動を行っております。

1. 会 議

(1) 定例全体会議（合同部会）

開催日：令和3年5月14日

開催場所：新潟テルサ

参加者：精度管理部会所属10機関中9機関(計9名)

内 容：令和2年度事業活動報告及び収支決算報告
令和3年度事業計画及び収支予算（案）

(2) 役員会

開催日：令和3年6月29日

開催方法：オンライン（Microsoft Teams）

参加者：部会長及び副部会長（計3名）

内 容：精度管理部会 全体会議 議題原案作成
精度管理部会 全体会議 会場選定

(3) 部会全体会議

開催日：令和3年7月28日

場 所：（一財）新潟県環境衛生研究所

参加者：精度管理部会所属10機関中9機関出席（計9名）

内 容：令和3年度部会活動について具体的な内容の討議

2. 部会活動

(1) 外部精度管理

模擬排ガス水溶液試料「硫黄酸化物、窒素酸化物」の測定

(2) 内部精度管理

「排ガス測定において困っていること」の討議

(3) 精度管理に関する研修会

外部精度管理、内部精度管理の結果をとりまとめ、計量証明部会と合同の研修会を令和4年2月18日に開催する予定

計量証明部会活動報告

計量証明部会長 巻 瀧 重 人

計量証明部会は、環境計量証明事業に係る分析・測定技術の向上を目的として発足した部会ですが、現在、新検協の全機関（11機関）が加入しています。

本年度の部会活動は、理事会で承認された事業計画及び新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、以下の活動を行っています。

1. 定例全体会議（活動報告）

開催日：令和3年5月

場 所：新潟テルサ 会議室

出席者：9機関9名出席

内 容：令和2年度事業報告及び収支決算報告について
令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

2. 役員会（活動報告）

開催日：令和3年7月

場 所：一般社団法人 新潟県環境衛生中央研究所

出席者：部会長及び副部会長3機関3名出席

内 容：令和3年度事業計画内容について（技術研修会、県外視察研修他）

3. 研修会等

(1) 技術研修会

開催日：令和3年10月1日

場 所：にいがた産業創造機構 テクノプラザ 会議室

参加者：8機関18名参加

内 容：外部審査への対応と改善事例について

(2) 技術者倫理教育講座

開催日：令和3年11月19日

開催方法：リモート開催（下越、県央、上越の3会場に分散しZoomにより中継）

参加者：7機関25名参加

内 容：入社10年目程度までの技術職員を対象にした倫理研修

(3) 合同研修会（精度管理部会と合同で開催予定）

開催日：令和4年2月18日予定

場 所：未定

内 容：精度管理（内部精度管理・外部精度管理）及び計量証明部会活動報告

4. 県外視察研修（今年度はリモートによる代替研修を実施）

開催日：令和3年11月5日

研 修 先：オリエンタル技研工業株式会社

参加機関：7機関参加

内 容：作業環境の改善、ラボの設計・デザインに関する情報収集

水道・食品部会活動報告

水道・食品部会長 大嶋 敏樹

水道・食品部会は、水道水質及び食品に係る検査技術の向上を目的に2つのグループを設け、グループごとに検査技術に関する研修、広報活動及び情報交換を行っています。

本年度の事業活動は、部会全体会議において審議された事業計画及び新型コロナウイルスの感染状況をふまえて行っています。本年度の活動内容について報告します。

1. 合同部会会議（水道・食品部会全体会議）

開催日：令和3年5月14日

場 所：新潟テルサ

出席者：7機関、6名（うち1機関書面決議）

内 容：令和2年度事業報告及び収支決算報告について
令和3年度事業計画及び収支予算（案）について

2. 全国給水衛生検査協会 関東甲信越支部理事会

(1) 第1回理事会

開催日：令和3年6月（書面による決議）

(2) 第2回理事会（予定）

開催日：令和4年3月

場 所：未定

3. 研修会

(1) 20条グループ研修会

開催日：令和3年11月29日

場 所：燕市吉田産業会館

内 容：PT-GC/MSによる分析の実際について（PT-GC/MSの基礎）

非イオン界面活性剤の分析について

PFAS分析のアプリケーションのご紹介

講師 ジーエルサイエンス株式会社

参加者：水道・食品部会7機関（11名）

(2) 食品グループ研修会

開催日：令和4年2月（予定）

場 所：未定

内 容：食品検査技術研修

2 匹 の 猫

一般財団法人 上越環境科学センター 高橋 卓

我が家には今年（令和3年）の冬（1月）まで、一匹の猫がいました。その猫の名前はニヤスケ（ニャーと呼んでいました）、キジトラ模様の雄猫でした。ニヤスケは、18年前の夏に当時小学生だった二人の娘が、家内の実家近くから連れ帰ってきた野良の子猫でした。娘は、「慣れてついてきた」、「もう返せない」と必死にうたっていました。当時は小さくて、その年の6月頃に生まれ子猫だと、獣医さんが言っていました。ニヤスケは、来たすぐに、精神的な緊張からか、極度の便秘で寝たきりになりましたが、獣医さんのおかげで回復しました。少し育つと、若猫らしくヤンチャになり、夜に家から飛び出しました。夜通し周辺にいたボス猫に追われて逃げ回り、朝方によく見つけて連れ帰った日もありました。それからは、私がニヤスケの首にリードをして、夜な夜な犬のように散歩を行うのが日課となりました。猫は夜が大好き、昼間では考えられないくらい遠くまで散歩しました。ハプニングもありましたが、私はとっても楽しい思い出をもらいました。

そんな、ニヤスケが私を思いっきり噛んだ事が2回あります。1度目は、夜の散歩の途中で、隣区域の猫集団に襲われた時で、恐怖で興奮して、抱き上げた私の腕に噛みつきました。2回目は、私の不注意から、腕から飛び降りる時に足の骨を折ってしまった時です。ニヤスケを抱きかかえながら、ニヤスケは痛くて思いっきり噛んだり、ひっかいたりしました。それを受け止めながら、ガンバレと叫びました。そんなニヤスケは、ここ数年はゆったりとした生活をすごしました。ほんとうにかわいくて、毎日散歩し、私たちに「いやし」をくれた大事な家族の一員でした。この冬の大雪の中、18歳7ヶ月の一生をやすらかに閉じました。一緒にお墓に入り、また出会う日を楽しみにしています。

冬にニヤスケを失ったこの6月に、二番目の猫をウチに迎え入れました。それは県の保護センターより譲り受けた保護猫でした。名前は家内の提案でチャコとしました。三毛猫模様の雌猫です。センターの説明では7歳くらいとのこと、2ヶ月以上近く引き取る人がいなかったそうです。チャコは野良猫時期が長かったためか、ニヤスケと違い、全く人慣れしていませんでした。ひきとった翌日から、葛藤の日々となりました。病院に連れていくために抱き上げた瞬間、思いっきり噛まれ、ひっかかれ、片手が血だらけになりました。夜は犬のような声で遠吠えをし、人が近づけば常に「シャー」と威嚇してきました。野良猫だったチャコは、野生動物と同じ。全力で逃げ、噛みつき、野生そのものでした。自然相手の仕事をしてきた私でしたが、野生をむきだしにした動物の恐ろしさを忘れていました。それは、長年ニヤスケのようなおとなしい猫と接していたためでしょう。そのギャップに驚きましたが、ここであきらめると、再びひとりぼっちになるチャコはどうなるんだろう。傷だらけになった自分の腕を見ながら、ニヤスケに噛まれた日を思い出しました。人に慣れていないチャコも怖くて仕方なく噛みついてきていることを思いました。けして、あきらめて手放してはいけないと決意しました。

ひきとってから5ヶ月がすぎようとしています。チャコは徐々に慣れてきています。昼間は家内と遊んで、騒ぎまくっています。威嚇も遠吠えもなくなりました。ニヤスケのくれた「いやし」を継いで、家族の一員になってきています。私はもうすぐ定年を迎えます。私は後世に何を継いでいけるだろうと、かわいくなったチャコを見ながら、ふと思ってしまうこの頃です。

宇宙からの来訪者

一般財団法人 新潟県環境分析センター 風間 太一

JAXAがメダカの番いを宇宙に連れていき、産卵・飼育の実験を行ったことをご存じでしょうか。宇宙から帰還したその子孫たちが、最近博物館で展示されているのを見かけました。何の因果か、我が家にもそんな宇宙帰りのメダカの子孫が2匹。『宇宙メダカ (の子孫)』とはいっても他のメダカと何ら変わらず、のんびり水槽で暮らしています。今回はそんなメダカの魅力を語っていきたいと思います。

メダカは成魚になっても体長4cmほどの可愛い魚です。一般的なヒメダカは淡いオレンジ色ですが、白メダカや青メダカ、濃いオレンジの楊貴妃メダカなど、色によって分けられるものと、おなかの大きなダルマメダカなど、その身体的特徴により分けられるものがあり、その種類は500種以上。近年その育てやすさや種類の豊富さから人気が高まっています。中には1匹1万円を超える金額で取引されるものもあるようですが、一般的には1匹あたり数十円から数百円とお手軽な値段です。私のお勧めは『幹之 (みゆき) メダカ』です。オーソドックスな体型で、上から覗くと背骨に沿ってスッと入った光の筋と銀色のキラキラしたうろこが特徴的です。ゆったりと泳いでいる姿は実に優雅で、鯉とはまた違った意味で『泳ぐ宝石』と思わせてくれます。

メダカは日本に古くから生息していることから、日本の気候にとっても馴染み、四季折々、様々な環境でも適応できる丈夫な魚です。水槽代わりの容器に塩素を抜いた水を張るだけで飼育できるほどのお手軽さです。熱帯魚と違って温度管理にさほど気を配る必要もなく、室内でも室外でも飼育可能です。飼育環境の整備に手間がかからないため、小学生でも簡単にお世話できます。見た目にもこだわりたい方は、大きめの睡蓮鉢で睡蓮の花と一緒に育てるのも風情があってお勧めです。睡蓮以外でもこだわりのレイアウトや水草と一緒に育てることで、日本の四季を感じる素敵なアクアリウムやビオトープになります。

外で育てることで心配なのは冬の寒さですが、雪の降り積もる真冬でも、雪で埋もれて凍らないように蓋や軽い囲いをする程度で冬越しさせることができます。強いて言えば暑さにはやや弱いですが、真夏の炎天下でも簾などで日影を作ってあげれば、元気に泳いでくれます。私は室内と室外の両方で育てていますが、外の子たちのほうが元気にすくすく育ってくれます。

メダカだけで育てるのも良いですが、華やかさを重視するなら、ネオンテトラやアカヒレなどと一緒に飼うことができます。メダカは気性が穏やかな為、コリドラスやオトシンクルスなどの大人しい魚と一緒に飼育することができます。ミナミヌマエビやヤマトエビ、石巻貝やヒメタニシなどと一緒に飼うのもお勧めです。これらの生き物は面倒な水槽のお掃除の手間を減らしてくれます。

メダカの魅力・育てやすさについて語ってきましたが、もちろんいくつか注意点もあります。丈夫とは言っても生き物ですので、エサや掃除・水替えは必要です。狭い空間での過密飼育や環境の悪化などで病気にもなります。比較的簡単とはいっても、最低限の手間はかかります。ですが、それに見合った癒しも与えてくれます。卵を孵し、すくすくと育っていく姿は何とも言えない喜びを与えてくれます。何か生き物を飼ってみたい、新しいことに挑戦してみたいという方、この拙文を読んでしまったのも何かの縁、この機会にメダカの飼育にチャレンジしてみませんか？

わが家の郷土料理

一般社団法人 新潟県環境衛生中央研究所 相澤 泰子

「赤飯」と聞いてどんな「赤飯」を思い浮かべますか？お祝いごとの時に食べられ、ピンク色でもち米と小豆やささげを混ぜて蒸したおこわを連想される方が多いのではないのでしょうか。私の住む長岡市では「赤飯」といえば、金時豆の入ったしょうゆ味の茶色のしょうゆおこわのことで、長岡の郷土料理のひとつです。なぜしょうゆ味なのかについては諸説あるようで、一説では長岡では昔やささげがなかなか採れず、ささげの赤い汁でもち米に色をつけることができなくて、身近にあったしょうゆで色づけしたのが始まりとされています。長岡ではお祝いごとの際以外でも日常的に食べられており、多くのスーパーでは常時置かれています。

私の家のしょうゆ赤飯の作り方をご紹介します。作る前日にもち米(3合)をとぎ、かぶるくらいの水につけて一晩置き、金時豆(30g)はざっと洗い一晩水につけて戻しておきます。当日、まず戻しておいた金時豆を豆の皮が破れないように弱火で茹で、湯きりをします。もち米をざるにあげ水気をきった後、濡らした蒸布を敷いた蒸し器に広げ、その上に金時豆をのせて30分蒸します。蒸しあがったもち米を飯台や大きめのボールなどに移し、合わせ調味料(しょうゆ36ml、酒36ml、砂糖20g、水100ml)を回しかけ、色が均一になるように混ぜます。再度、蒸布を敷いた蒸し器に移し、30分程蒸し、好みの硬さに蒸しあがっていればでき上りです。飯台に移し軽く混ぜ合わせ、好みで食べる際にごま塩をふります。炊きあがりのはつやつや感があり、お米の粒がシャキッと立っていて、噛むほどにうまみを感じます。蒸し時間1時間と長く手間もかかりますが、時間がたっても美味しい赤飯ができます。蒸し器がない場合、炊飯器に「おこわモード」があれば手軽に炊きおこわを作ることができます。水気をきったもち米を炊飯器の釜にいれ、調味料を入れてから、おこわ用の水加減にし、茹でた金時豆をのせて、おこわモードで炊きます。飯台やボールなどに移してできあがりです。米は柔らかくややねっとり、もっちりした口当たりになり、蒸赤飯とはまたちがった食感を楽しむことができます。

私の家では1.5升で作るのですが今回は3合に変更して紹介しました。このしょうゆ赤飯の作り方は祖母から母が受け継いだもので、母の材料が書かれた覚書を元に母から作り方を聞きながら私が書いたものです。レシピの形で書かれたものがあるわけではありません。この原稿を書くにあたりインターネットで郷土料理のレシピを検索したり、スーパーで販売されているしょうゆ赤飯を購入し試食してみましたが、私の家のしょうゆ赤飯とはやはりちがいました。当然といえば当然のことですが、家庭によって同じ料理でも作り方も味もことなります。子どもの頃から作るところを見て育ちましたが私自身は作ったことがありません。今回レシピを書いてみて、私の記憶と覚書だけでは作れそうになく、母から習っておかなければ私の家のしょうゆ赤飯は消えてしまうと感じました。私の家では赤飯だけでなく受け継がれてきた料理はどれも母の材料と分量が書かれた覚書程度のものがあるのみです。既に食べたと思っても作らない料理もあり、他の料理もこのまま消えてしまうのはさみしく感じます。

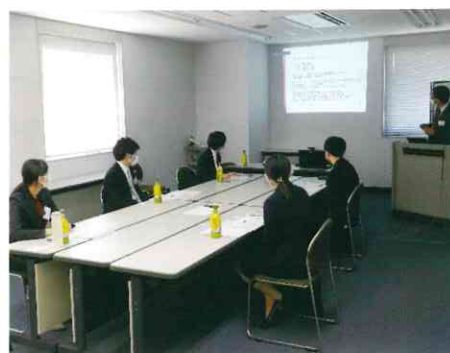
この原稿を書いている現在、今年も残すところ1か月を切ろうとしています。年末年始は郷土料理などを作る機会が増えます。慣れ親しんだ味を守り子どもに受け継げるよう、習い作るとともにレシピを書いてみようと思っています。

技術者倫理教育講座 実施報告

計量証明部会長 巻 淵 重 人

会員機関における若手技術者の倫理観の向上を目的に、(一社)日本環境測定分析協会関東支部の助成のもと技術者倫理に関する教育講座を開催しました。

- (1) 開催日時：令和3年11月19日 13時～17時
- (2) 開催方法：下越エリア（技術士センタービル会議室：A・B 2班）、県央エリア（新潟県環境衛生研究所：C・D 2班）、上越エリア（上越環境科学センター：E班）の3ブロックに分かれてのリモート開催
- (3) 参加者：7機関25名 {日環協会員の(株)キタック様からもご参加頂きました}
 〈内訳〉20代：80%、30代：20% 経験年数1年以下：28%、
 2～3年：64%、4年以上：8%



A班（下越エリア）

(4) 講座の内容

講義1：なぜ「倫理」を勉強するのか

講義2：計量証明の倫理問題について

グループディスカッション：「航空貨物用保冷コンテナのトラブル事例」について

本研修では若手職員を対象に「グループディスカッション」形式を取り入れた講座を過去2回開催しており、好評を頂いております。3年ぶりとなる今回の研修では、新型コロナウイルス感染拡大・密を防ぐ観点からディスカッションを行う各グループごとに受講者を分散し、各会場をZoomにより繋いで開催いたしました。



B班（下越エリア）

前半の講義の配信後、5会場に分かれたグループごとに想定事例について議論を行い、まとめた意見を各会場ごとに中継を切り替えながら発表していただきました。普段の研修と違って最初は戸惑う場面もありましたが、参加者全員が熱心に取り組み、最後は各グループとも素晴らしい意見発表を行っていました。



C班（県央エリア）



D班（県央エリア）

研修会実施報告～コロナ禍編～

今回の研修では残念ながら一堂に会して親睦を深めることは出来ませんでしたが、ご参加された方々にとって今後の業務に活かせる有意義な経験を提供できたのではないかと思います。



E班（上越エリア）



Webカメラによる集合写真

今回の研修会におきまして、講師を快く引き受けていただき、事前の準備段階から多大なお力添えを賜りました日本技術士会北陸本部 倫理委員会 阿部治彦様、高野康夫様、村山達也様、佐藤豊様、村田佳久様に深く感謝申し上げます。

県外企業リモート研修会 実施報告

計量証明部会長 巻 瀧 重 人

計量証明部会の行事として例年行っております県外視察研修は、昨年と同様新型コロナ感染拡大防止の観点より実施が難しい状況のため、移動を伴わない代替研修として今年度はオリエンタル技研工業（本社：東京の研究施設・設備メーカー）様に依頼してリモートによる見学会を開催しました。



令和3年11月5日にオリエンタル技研工業株式会社様のショールーム「イクシーズ」（茨城県つくば市）より、新検協から参加した7機関に向けて作業環境を改善するための局所排気装置のお話や性能評価試験、各種ラボ設備のご説明などをGoogle Meetで中継しながら行って頂きました。



実際に現地で説明を聞くのと違いオンラインでの制約を受ける面はありましたが、カメラの映し方など工夫していただき、職場に居ながらにして研修先のラボの状況を感じ取ることができたように思います。ご参加頂いた機関様にとって今後の分析室の設計やデザインの一助となれば幸いです。

今回の研修をお引き受け頂いたオリエンタル技研工業様には、お忙しいところ研修のための準備やリモート環境の整備などでご協力を頂き、大変感謝申し上げます。

新潟県環境検査協会会員及び役員

正会員

機 関 名	所 在 地	TEL / FAX
(株) アート環境設計	〒950-2053 新潟市西区寺尾前通1丁目15番1号	025-233-4333 / 025-233-4353
(株) NSS	〒959-0232 燕市吉田東栄町8番11号	0256-78-7611 / 0256-78-7622
(一財) 下越総合健康開発センター	〒957-8577 新発田市本町4丁目16番83号	0254-23-8352 / 0254-22-0492
(一社) 県央研究所	〒959-1241 燕市小高6014番地	0256-46-8311 / 0256-46-8310
(株) 県都食品環境分析センター	〒950-0022 新潟市東区幸栄1丁目7番12号	025-270-8890 / 025-270-8132
コーポエンジニアリング(株) 新潟分析センター	〒950-3101 新潟市北区太郎代1448番地3	025-255-2166 / 025-257-4871
(一財) 上越環境科学センター	〒942-0063 上越市下門前1666番地	025-543-7664 / 025-543-7882
東北緑化環境保全(株) 新潟統括支社	〒957-0101 北蒲原郡聖籠町東港1丁目1-155	025-256-2506 / 025-256-3134
(一財) 新潟県環境衛生研究所	〒959-0291 燕市吉田東栄町8番13号	0256-93-4509 / 0256-92-6899
(一社) 新潟県環境衛生中央研究所	〒940-2127 長岡市新産2丁目12番地7	0258-46-7151 / 0258-46-9851
(一財) 新潟県環境分析センター	〒950-1144 新潟市江南区祖父興野53番地1	025-284-6500 / 025-284-0022

賛助会員

機 関 名	所 在 地	TEL / FAX
鐘通化学薬品(株)	〒951-8141 新潟市中央区関新1丁目7-22	025-231-7121 / 025-231-7123
(株) ケンテック 東日本営業所	〒950-0831 新潟市東区下場25-1	025-279-2031 / 025-279-2032
島津サイエンス東日本(株) 新潟支店	〒950-0923 新潟市中央区姥ヶ山 1-8-26	025-286-7191 / 025-286-7193
(株) タケショー	〒950-3122 新潟市北区西名目所5503番地1	025-278-2001 / 025-278-2108
北陸工機(株)	〒942-0001 上越市中央3丁目14-34	025-543-2434 / 025-544-5588
富士フイルム 和光純薬(株)	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-4-1	03-3270-8248 / 03-3270-8545

役 員

役職	氏 名	機 関 名	備考	役職	氏 名	機 関 名	備考
会 長	金子 賢司	(一社) 新潟県環境衛生中央研究所	常任理事	理 事	巻 瀧 重人	(一社) 新潟県環境衛生中央研究所	計量証明部会長
副会長	三富 潤一	(一財) 新潟県環境衛生研究所	常任理事 団体専任理事 (口裏輪 新潟支部)	理 事	古川 惣一	(一財) 上越環境科学センター	精度管理部会長
理 事	横田 清士	(一財) 上越環境科学センター	常任理事	理 事	大嶋 敏樹	(一財) 新潟県環境衛生研究所	水道・食品部会長
理 事	猪俣 太郎	(一財) 新潟県環境分析センター	常任理事 団体専任理事 (輪船会 新潟支部)	監 事	三田 政弘	(一財) 下越総合健康開発センター	
理 事	安川 展弘	東北緑化環境保全(株) 新潟統括支社		監 事	滝沢 博雄	コーポエンジニアリング(株) 新潟分析センター	

編集ノート

本機関誌も遡ること昭和50年1月に発刊された旧協会名時の「民間検査機関だより」から数え今号で通算第50号という節目を迎えることができました。これまで本協会の活動に携わってこられた会員機関各位及びご協力を賜りました関係諸氏に深くお礼申し上げます。

50号といえば昨シーズンの大リーグエンゼルス、大谷翔平選手の大活躍を思い起こします。残念ながらホームラン50本と二桁勝利には届きませんでした。投打5部門でのクインテッブル100の達成やオールスター戦に投打二刀流で先発出場した初の選手としてのギネス認定、さらに満票でMVPを受賞するなど、メジャーを席巻するニュースが耳に入るたびに同じ日本人として誇らしい気分になりました。

昨年夏はコロナにより延期されていた東京オリンピックも開催され、日本は史上最多となる27個の金、銀銅合わせて58

個のメダルを獲得するという輝かしい成績と素晴らしい感動を私達に与えてくれました。来月には北京オリンピックも控え、新潟県出身の平野歩夢さんや他の選手達の活躍も大いに期待されます。スポーツ選手達の活躍を見ていると苦難を乗り越えようとする人間の逞しさを感じますが、人類がコロナに打ち勝って克服する年になることを切に願います。

末筆となりますが、業務ご多忙の中、原稿をお寄せ頂いた皆様に深く感謝申し上げます。



編集委員 / 計量証明部会 巻瀧
 精度管理部会 古川
 水道・食品部会 大嶋
 事務局 小笠原